

山名	No 3 (登山マップ掲載番号) 波賀尾岳
調査日時	平成30年1月6日(土) 12:00~14:00 平成30年3月3日(土) 11:00~16:00
調査ルート	ルートA (二宮神社①から正面の谷~森林管理道②経由~尾根道③~頂上④) ルートB (添付地図⑤から⑥⑦⑧経由で頂上④へ。道標が設置されています) ルートC (二宮神社鳥居前から右手の谷、⑨⑩経由で頂上④へ) 下りルート (頂上④から南東尾根経由でため池へ出るルート)

【見どころ・おすすめ時期など】

- ・麓の二宮神社とその付近一帯の佇まいが見どころです。春の桜、秋の紅葉の季節がおすすめです。
- ・静かな頂上広場も趣があります。篠山市内方面に目をやると、はるかに高城山を望み、北の方向には黒頭峰、夏栗山の二峰が大きな山容を見せています。
- ・国道176号線からの波賀尾岳の眺めもまた捨てがたい風景です。
- ・波賀尾岳から北西に追手神社に到る大山川沿いの旧街道に沿って、春3月にセツブンソウやアズマイチゲ、ニリンソウ、ユキワリイチゲ他の花が咲き、大切に保護されています。春の花探訪と波賀尾岳登山を組み合わせた早春の波賀尾岳登山はおすすめです。

【注意ポイント】

- ・登り4本のルートの中で安心してお薦めできるのは二宮神社から正面の谷から森林管理道を経由して北尾根に出て頂上に到るルートAです。管理道を利用しますので傾斜が緩やかで、ファミリー向けにお薦めできます。
- ・ルートBも登山道入口を道標が整備されているので安心です。但し、このルートは尾根の急登の道です。波賀尾岳頂上への道で道標が設置されているのはこのルートだけです。
- ・ルートCは二宮神社の鳥居前から右に入る道を辿るルートで、地形図の破線の道は管理道に分断されていますので、中腹から管理道を辿ることになります。地図上⑩の鞍部に出るには、最後に管理道から左手上部に斜面凹部の踏み跡を登ることになります。⑩の鞍部は現在ヒノキの倒木が重なるように尾根道を塞いでいます。なお⑩から波賀尾岳に到る尾根道は迷いやすい箇所もあって、ルートCは一般ハイカーにはお薦めできません。
- ・地図上⑧から尾根をそのまま辿って直接二宮神社に下る道は、急な斜面を歩きやすいところを拾いながら神社の建物目指して下る感じで、もう少し整備する必要があります。

【波賀尾岳ルート図】



迷いやすい

慶佐次盛一氏が利用された尾根ルート(青線) 踏み跡程度の道

篠山市登山マップに記載されている登山ルート。このルートは管理道から尾根に出るところが不明瞭で、また頂上までの尾根道も経験者向け。③を経由するルートAを薦めます。

波賀尾岳登山道再調査ルート図


【波賀尾岳各部写真】

☆ルートA


①登山道入口付近

	<ul style="list-style-type: none">• 登山口となる二宮神社です。 <p>※鳥居</p> 
---	---

②登山道

 <p>A B</p>	<ul style="list-style-type: none">• A：正面の谷の森林管理道突き当たりから振り返って二宮神社を見下ろす。• B：突き当たりから管理道は左に曲がって斜面を登ります。
---	--

③登山道

	<ul style="list-style-type: none">• 正面の谷の森林管理道を辿って波賀尾岳の北尾根に出るところ③地点を見上げる。• 作業道が尾根の道のすぐ下までといているので、尾根道に容易に渡ることができます。
---	---

④頂上



• 山名プレート、大山郷づくり協議会による由来書、大山小校歌の解説板があります。

④頂上の景観



• 黒頭峰～夏栗山や三嶽～高城山を望めます。

☆ルートB

⑤登山口



•ルートB登山口の住宅地から進行方向を見えています。正面に獣避けフェンスが見えます。



⑥標柱



•獣避けフェンスの扉を開けてすぐの杉の植林地に入る手前に、「波賀尾山登山口」の標柱が設置されています。
この標柱は平成13年に建てられたものです。

⑦登山道



•標柱から林内に入ってすぐ、「波賀尾山頂上へ」の道標が設置されています。この道標はつい最近建てられたもののようです。
•道標に従って右に進みます。

⑧登山道



- ⑦の分岐点から急な尾根の道を登って、北尾根③地点の少し下でルートAに合流します。
- 北尾根をルートAに従って登ると頂上につきます。

☆ルートC

⑨御在所山への分岐道



- ルートCの上部は森林管理道にしたがって大きく尾根を巻くように進みます。
- 地形図上の破線の道は管理道に寸断されて利用できません。

⑩御在所山山頂



- 森林管理道が一番尾根に接近する⑩位置の尾根鞍部下から凹地の踏み跡を登って⑩にでます。
- 現在この鞍部は昨年秋の台風で倒れたヒノキが折り重なっています。